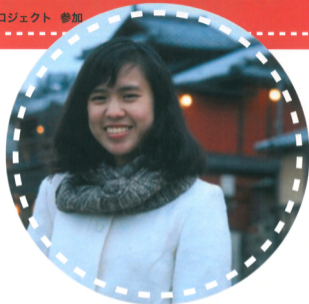


# サンパキッジ・ピラヤー さん (株式会社フラットエージェンシー-2016年入社)

2014,2015年度 Have Fun! Eidenプロジェクト 参加



## グローバルのプロジェクトに参加した理由を教えてください！

1回生のときは授業と学内活動とアルバイトがほとんどでしたが、2回生になってから学外活動に参加するようになっていっている人に出会いました。「デザインは課題を解決するためのツールだ」という大学の先生がおっしゃった言葉に刺激を受けて、大学で学んだ専門知識をいっているな場面で実践してみました。グローバルの取り組みを知ったのは、留学生向けに案内があったことがきっかけです。私は大学でデザインを専攻していたので、それを活かせる経験ができると思ったこと、また他大学の学生と一緒にチームを組んで取り組めることに魅力を感じました。

## プロジェクトを通して感じたこと、学んだこと、苦労したことはなんですか？

プロジェクトに参加して気づいたことは、人が持っている知識によって物の見方が違うということです。芸大生はモノづくりは得意でも、コンテンツを考えるのは苦手な人が多いです。

でもプロジェクトに参加した学生には政策学部、経済学部といった自分や周りの友達とは違う視点で考えられる学生がいて、コンテンツを考えるのが楽しかったです。この活動で私は、デザインする・作るという立ち位置をはっきりさせたことで自分の居場所を確立させることができました。立ち位置を見つけられるようになったことで、会社で働く今でも勇気や自信を持って意見したり行動できるようになったと思います。一番難しかったことは情報共有かな。議事録を丁寧に書くことの重要性を学びました。プロジェクトメンバーとは、一昨年みんなで忘年会をしました。みんなが社会人になってからは会っていないので、今年もまたみんなで集まって話を聞きたいなと思います。

## プロジェクト経験が就職先を考える際に与えた影響や社会に出て感じた学生との違いを教えてください！

プロジェクトを進める過程で企業訪問の機会があり、プロジェクトの連携企業についてより知ることができました。中小企業を希望した理由は、社長と社員の距離が近く経営者と直接コミュニケーションを取れるからです。それによって、会社のことをもっと好きになり、自分の会社だという意識を強く持って前向きに働けるのではないかと考えました。そして、京都が好きになり、自分の持っているスキルをこの街で活かしたいと思い、「中小企業×京都×デザイン×多様な視点」で仕事を探してみたら今の会社を見つけました。社会人と学生の一番大きな違いは時間の使い方ですね。

社会人になってから大学の後輩に会うたび、学生の時間の使い方で驚沢だなと思います(笑)。社会人にとって時間は宝もの。自分の時間は大切ですが、他の人の時間ももっと大切。誰かが私のために時間をかけて何かをしてくれたら、とても感謝します。

## これからの採用・就職活動に期待すること

人の数だけ個性があると私は思います。その個性を大切に、「この人だったらこの仕事を任せたい」と、一人一人をよく見つけて採用活動をしてほしいです。新入社員でも「私が役に立っている！」と感じる職場環境が作れたらいいなと思います。

